

医療法人ベテール  
てんかん専門病院ベテール

**荒谷 菜海** 院長



パープルデー 3月26日 は てんかん啓発の日

てんかんがあっても、社会の一員として活躍することができません。そのために、病院に通ったり、薬を飲んだり、睡眠をしっかりとるようにしたり、気をつけて生活する必要があります。これを毎日継続することは、意外と簡単なことではありません。薬を飲むことで発作が起こらず、とても元気に見えていても、ご本人が日々の努力を続けていることを知ることが大切です。なかなか発作がおさまらず、発作と付き合いながら生活している方もいます。てんかん発作は、人それぞれ、様々な症状があります。発作のタイプに合わせて、怪我や事故がないように、安全を守る工夫をすることが必要です。また、発作のあるなしに関わらず、てんかんがあることで生まれる不安や悩みがあるものです。そのことが広く知られ、一緒に解決を目指す仲間が増え、てんかんを持つ方も生きやすい社会になることを願っています。

